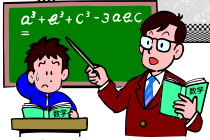


明徳の街



教育の成果は上がっていなかったのか

教頭 渡部 栄二

年末には各種重大ニュースが報道されていました。教育に関する重大ニュースを「日本教育新聞社」は右のようにあげています。

学力低下、いじめ問題など、教育を再生しなければならないという風潮の中「教育3法案」が改正され、授業時数や指導内容を増やす「新学習指導要領」方針が示されました。

例えば、次のように指導内容が増えるそうです。

新学習指導要領の概要固まる
教育3法が成立、免許更新制、副校長、主幹教諭制度等導入へ
給食費未納が増加
いじめ問題、定義の変更で約6倍に
教職大学院の開設準備進む

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・易しい古文、漢詩・漢文の音読や暗唱を重視する。 ・上の学年に配当されている漢字や、学年別漢字配当表にない常用漢字について、フリガナを用いるなどして読む機会を多くする。 ・ローマ字の指導はより早くから行う。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・47都道府県の名称と位置、世界の主な大陸や海洋、主な国の名称と位置等を調べる学習。 ・縄文土器が使われていたころの人々の暮らし。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年で表、グラフ。 ・計算の見積もりを中学年でも指導する。 ・高学年でひし形や台形の面積の求め方。
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・高学年は、週1コマ「外国語活動」を導入。担任が指導する。 ・年間35時間の英語授業を実施。文科省から「英語ノート」(仮称)が配布される

指導内容が増えることに、わたしは反対ではありません。ある程度の知識がなければ、思考力や判断力は育たないからです。

しかし、この改革が「今までの教育は成果が上がっていない」という反省のもとになされるのは疑問です。本当にここ10年間の教育の成果は上がっていなかったのでしょうか。

昨年4月に全国50000人の児童生徒に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果は、次の通りでした。

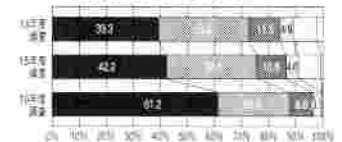
「知識」に関しては相当数の児童生徒が学習内容を概ね理解している。

そして、わたしが注目したいのは、右グラフに見られる「学習に関する関心・意欲・態度」の変化です。平成13年度の調査では「国語で学習したことが将来役に立つ」と考える子が39.3%だったのに比べ、今回は61.2%に増加しています。算数では68.3%ほぼ7割の子が役に立つと考えています。

日本の子どもは、学習の大切さ・学習への意欲が低いと言われて続けてきました。しかし、この6年間で学校教育は学習の有用性を児童に体感させてきたのです。悪いデータばかりを元に教育を改革しようとするれば、いつまでも希望は見えません。成果に着目してこそ、教育は進歩するのだとわたしは考えます。

教育改革実行の年、日本全体の教育の動向にも注目しようではありませんか。

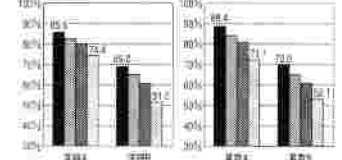
【小学校】国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



【小学校】算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



【小学校】国語(算数)の勉強は好きですか



学校評価アンケート保護者へのQ&A

前号では、後期の学校評価について数値を元にした成果・改善方法についてお知らせしました。しかし、評価は数値だけではありません。保護者や地域の皆様から次のような意見をいただいていたました。

保護者からの意見

- 早寝早起き朝食をとり、体を動かし、規則正しい生活ができるようになりました。
- 全校テストに向けて練習プリントが出るので、合格しようと努力できる。学校だよりの内容が豊富で、家族全員で会話をはずませながら読んでいます。学校、先生方がいろいろ考えてくださっているのを感じ、とてもありがたいと思っています。自分の植木鉢の植物が枯れていても、水をやらない。生活科でどんな学習をしているのか、詳しくこまめに教えてくれると評価しやすい。

地域からの意見

登校の様子から、上学年は下学年を先に横断させており、相手を思いやることを実行している。また、あいさつもみんなが自分からやっている。朝8:40頃、校舎のそばを通りましたら、2つの学年から素晴らしい歌声が聞こえてきました。11/6の二期会の方々との共演の日から、また一段とレベルアップした歌声でした。歌うことの喜びが伝わってきました。継続していることは、大変良いと思います。秋に全校で校庭・グラウンドの草取り、とてもがんばっていました。奉仕活動もしっかりやっておられますね。いつも中川だよりを見て、子どもたちの学校生活、先生方の努力を感じます。後3ヶ月あまりの中川小学校、先生方の熱心な取組に、本当に感謝しております。今まで、いろいろありがとうございました。知徳体の総合的な取組が、バランス良く効果的に子どもたちに結果として出ていると思います。3学期も、統合しても、この方法を生かして行ってほしいと思います。下校時、いつも一人で帰っている子がいます。とても気がかかります。児童数が少ないので同学年でいっしょに帰る人がいないのでしょうか。

温かいご支援の言葉、心に染みしました。その中の（問題点）（改善点）に対して、学校では次のように対応いたします。

Q1 最後の学校評価では、4者とも評価が高く、食い違いもなくなったそうですが、どのような取組でそのような成果が上がったのですか。

担当：渡部栄二

A 平成19年度、後期学校評価では94.2%のご家庭から回答をいただきました。ありがとうございました。

前号で4者の評価数値をお示ししました。6段階評価ですので、中間値は3.5となります。4者でのべ51の評価項目中、4.5以上が96.1%となりました。過去最高の大変高い評価をいただき、職員一同、これまでの取組に自信を持つことができました。保護者・地域の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。このような成果をあげられた理由として、職員は次のように考えました。

- (1) これまでの文書による情報発信だけでなく、来校して直接子どもの姿を見ていただく機会を増やした。
- (2) その際、子どもが力をつけたことが分かるよう、発表などの手立てを工夫した。
- (3) 職員も「めあてを自覚し」「事前に計画的に取り組み」「発表の機会を増やし」「取組をまとめ・反省し・欠点を改善し」「カード等の評価を工夫し」「継続した」ことによって、意識を向上させた。

これらを、学校全体として取り組みました。言い換えれば、校内の組織が主任を中心に計画を推進したからです。わたしたちは今回自信が持てた取組を、3学期、そして新しい学校でも生かしていこうと確認しました。今後ともご支援・ご協力をよろしく願います。

学校評価を検討する職員



Q2 生活科や総合でどんな学習をしているのか、保護者に伝えるために、3 学期からはどんな取組をしますか。

担当：石井亜希子

これまでの生活科や総合の学習の様子は、発表朝会や参観日の発表会などで伝えるようにしてきました。また学級だよりやみどりの新発田っ子だより等、文書での発信にも力を入れてきました。しかしそれはどちらかと言うと、学習の成果を伝えることが多かったように思います。生活科や総合の学習は、知識を獲得するだけでなく、それを獲得するまでの追究過程で体験したことこそが意義深い学習なのです。今までは、その部分を保護者の皆様に伝えることが弱かったように思います。そこで3学期は、「子ども達が学習課題を追究している様子」を伝えるために、次のような取組をしていこうと考えています。それは、子ども達が直接、家の方に学習の様子を伝える活動を行うということです。具体的には次のような活動です。

みそづくりを体験する3年生



- A 子どもが学習内容を直接家の人に話すような活動を行う。(疑問を聞く・アンケートを採る・がんばったことを話す等)
- B 学んだ内容を、手紙の形で家の人に渡す。(我が家でも～しよう・私がこれから～する等)
- C 家の人と一緒に活動を組む。

各学級で、上記のような活動の中の一つは行うように計画を立てています。子ども達の口から、生活科や総合の学習内容が聞けることを楽しみにしててください。

Q3 下校時、いつも1人で帰っている子がいて、とても気にかかります。児童数が少ないので、同学年 同士でいっしょに帰る人がいないのでしょうか。登下校の安全のために、今後どのように取り組みますか。

担当：石栗 英敏

A 下校時の安全管理の面から、一昨年、児童の下校の状況を調査し、児童毎の下校の状況を調べ、保護者の皆様と共通理解を図りました。しかし、ご指摘のとおり、今年度に入ってからそのような取組が不十分であったことは否めません。

そこで、早急に児童一人一人の下校状況を調べ、保護者の皆様と共通理解を図りたいと思います。手順としては、次のように行います。

- (1) 学年毎に、一人一人の児童が下校時に「誰と」「どのように」帰っているのかを調べます。
- (2) 学校から1人で帰っている児童がいる場合、または友達と分かれてから1人で帰る距離が長い場合は、学年内または学年を超えて複数で帰る方法があるかどうか探ります。
- (3) なるべく複数で帰るような方法をとるよう
に指導を行うとともに、一人一人の下校の指導状況をお知らせする「下校確認カード」を作成し、保護者との共通理解を図ります。

1月末までには、上記の取組を行います。その頃に配布される「下校確認カード」をご覧になり、ご意見・ご要望等を学校にお知らせください。

2 下校の調査
 (1)学年毎に、一人一人の児童が下校時に誰とどのよう帰っているのかを調べる。(1/11)まで
 ☆学級で決める方法をお知らせください。
 ☆学校から帰る方法を調べるときはグループになって集める。(例：横断車一列)
 ☆そのグループ毎に、発表の場を設ける。

下校確認カード(1人1枚)の記入例(1人1枚の場合)

姓 名：() 年 級：() 氏 名：()

下 校 時

誰と帰るのか (人数) (氏名) (人数)

どのように帰るか (人数) (氏名) (人数)

※下校時1人1人になる場面はなるべく、保護者配がなくなり、1人だけで帰る場面をなるべく減らし、0.5時間以内(1人1枚)にしたい。学年を超えて複数で帰る場合は、必ず保護者の同意を得る。記入は必ずしも必要ではない。学年を超えて複数で帰る場合は、必ず保護者の同意を得る。記入は必ずしも必要ではない。(1/11)まで

(2)学年の友達と分かれてから1人で帰る距離が長い場合は、学年を超えて複数で帰る方法があるかどうか探る。学年を超えて、いっしょに帰る児童の学年が異なる場合は、必ず保護者の同意を得る。記入は必ずしも必要ではない。(1/11)まで

学年	氏名	帰る方法	人数	氏名	帰る方法	人数
1年	山田	3人組	1・2年	田中	1人	1年
2年	佐藤	1人	3年	鈴木	2人	2年
3年	渡辺	2人	4年	1人	1人	3年
4年	1人	2人	5年	2人	1人	4年
5年	2人	1人	6年	2人	1人	5年

校内書き初め大会

ストップ・ザ・いじめ

～やめよういじめ 許さないじめ～

いじめ根絶にいがた県民会議



新春の書き初め、ひんやりとした体育館で、気持ちを引き締めて行いました。作品は、全学年体育館に展示してあります。22日の参観日に、ぜひご覧ください。



開会式、校長先生から書き初めの意味のお話。

1・2年生は教室で硬筆書き初め。鉛筆の音だけが響きます。

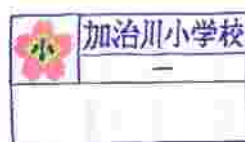


ひんやりとした体育館で、身も心も引き締めて毛筆書き初めをする3～6年生。子どもたちの集中力に、職員も感心。

新しい名札、配布します

新学校の新しい名札ができました。右のようなものです。そこで、3月中に1～5年生には以下の数量、配布します。2月の集金で集めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

名札	70円×2セット	140円	
体育着用	45円×4枚	180円	合計 320円



1月後半から2月の主な行事紹介

- 1月21日(月) 給食週間...25日まで、「食」に関する様々な企画があります。
NHK 児童画廊放送開始予定...26日(土)まで。中川小児童の力作をご覧ください。
- 22日(火) 授業参観...新春第1回目。校内書き初め展もご覧ください。6年生はエイズに関する授業を予定しています。ぜひ参観を！閉校式典等の参加費もお願いします。
- 24日(木) 地域子ども会...本年度最後。新学校への対応・下校の安全を確認します。
- 25日(金) 全校テスト(国語) 29日(月) 全校テスト(算数)
- 30日(水) 発表朝会...1年生が「できるようになった」ことを発表します。乞う御来校。
中学校入学説明会...いよいよ6年生は進学準備です。
- 31日(木) 校内なわとび大会...熱く盛り上がる行事。今年はどんなドラマが起きるでしょう？
- 2月 1日(金) 新潟っ子スキー体験事業...5・6年生が3小交流もかねて胎内スキー場で体験します。
- 4日(月) 第3回学校評議員会...後期学校評価、その改善策を地域の方に評価していただきます。
- 6日(水) 児童朝会...委員会の活動発表と合唱「ピリブ」の練習をします。
- 14日(木) チャレンジスピーチ...1・5年の発表です。スピーチを聴きにいらっしやいませんか。
- 15日(金) 見て聞いてコーナー...子どものパフォーマンス。参観できるのはこれが最後です。
閉校記念誌配布...感動の内容、お楽しみに！
- 19日(火) 6年生ありがとう習慣開始...27日が「6年生を送る会」です。